

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和03年01月07日

計画の名称	災害に備えるやまぐちのみちづくり（国土強靱化）											
計画の期間	令和02年度～令和04年度（3年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	山口県											
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震や大雨などによる自然災害等に備えるため、脆弱な区間を改良することにより、災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの充実・強化を推進する。</li> <li>災害時等における救急活動を支援するため、狭隘な道路の拡幅や、バイパス整備による線形不良箇所の改善等、緊急車両等の迅速かつ円滑な通行を確保する。</li> </ul>											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,550	A	1,550	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	・災害時に脆弱となる区間の道路改良の実施率を100%にする。 計画期間内において、災害時に脆弱となる区間の道路改良の実施率を算出する。 道路改良の実施率（%）＝（災害時に脆弱となる区間を解消した道路改良の延長／災害時に脆弱となる区間の計画延長）×100	0%	65%	100%
2	・狭隘な道路の拡幅やバイパス整備による線形不良箇所の改善等を行うことにより、緊急車両や大型車両が容易にすれ違ふことが可能な延長の割合を100%にする。 計画路線のすれ違い困難箇所解消率を算出する。 すれ違い困難箇所解消率（%）＝（すれ違い困難箇所を解消した延長／計画路線の延長）×100	0%	65%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	山口県	直接	山口県	都道府 県道	改築	(一)串戸田線・木屋ヶ 迫～柚木河内工区	バイパス 2.3km	周南市						100	-	
	A01-002	道路	一般	山口県	直接	山口県	都道府 県道	改築	(一)陶湯田線・黒川工 区	バイパス 0.7km	山口市						330	-	
	A01-003	道路	一般	山口県	直接	山口県	都道府 県道	改築	(主)美祢油谷線・砂利 ヶ峠工区	バイパス 2.0km	長門市						660	-	
	A01-004	道路	一般	山口県	直接	山口県	都道府 県道	改築	(一)油谷港線・久津工 区	バイパス 0.4km	長門市						360	-	
	A01-005	道路	一般	山口県	直接	山口県	都道府 県道	改築	(主)山口福栄須佐線・ 平わらび工区	バイパス 0.6km	萩市						100	-	
												小計						1,550	
												合計						1,550	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02				
配分額 (a)	0				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 災害に備えるやまぐちのみちづくり（国土強靱化）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との適合等	
I. 目標の妥当性 上位計画等との適合等 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえた計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と定量的指標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 定量的指標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 定量的指標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 機関事業と関連事業・効果促進事業の一体性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 事業実施により、十分な事業効果が発揮される。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性	
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 1) 事業費・事業内容が適切に設定されている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 熟度の高い箇所が選定されている。	○

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性

円滑な事業執行の環境 2) 実施工程に則して実施期間が設定されている。

○